

質問、見学、申し込みを非接触でスマホ完結の日本初のサービス SGDs表示にも対応した、 Z世代向け賃貸住宅情報ポータルサイト「スマプラ」 2022年10月1日本格稼働開始

不動産プラットフォームの開発、運営を手掛ける株式会社Sumapla(スマプラ)(東京都渋谷区、代表取締役 宮坂 哲二)は、2022年10月1日に、スマートフォンで見学から申し込み・審査まで完結できる日本で初めての賃貸住宅情報ポータルサイト「スマプラ」(<https://www.sumapla.life>)を本格開始いたします。当サイトは2022年1月から試験運用し、操作性を改善すると同時に賃貸住宅物件の登録件数を増やしてきました。登録物件数は約25,000件で、今後3年後には1,000,000件の登録を目指しています。

スマプラは、部屋探しをスマホで便利に、安心して楽しめるように、ITを活用して部屋探しの課題を解決するサービスを提供しています。賃貸住宅物件を探す経験が少ないZ世代をはじめとする若い世代の借り手に向けて考えたサービスで、物件の詳細説明には、「駅から近い」などの通常の条件のほかに、SDGsの5つの項目でも表示できるようになっていることも、スマプラだけの特徴です。

借り手にとっては、仲介手数料がかからないこと、大家(家主)さんと直接やりとりでき疑問を解消でき選びやすくなることがメリットとなります。不動産契約の専門家によるサポートがあるので契約で戸惑うこともありません。

一方貸し手となる大家(家主)さんには、スマプラが家賃保証をするほか、空室の物件を無料で借り手に直接アピールできるというメリットがあります。スマプラでの検索表示により、たとえば従来はなかなか借り手にアピールできなかったようなタイプ(条件)の物件でも、閲覧される可能性が高まり、物件の入居率の向上が期待できます。このことは、将来的には空き家問題の解決にも貢献できると考えています。

【会社概要】

社名：株式会社Sumapla(スマプラ)

ウェブサイト：<https://www.sumapla.life/>

所在地：〒150-0001 東京都渋谷区神宮前6-23-4

代表者代表取締役：宮坂 哲二

設立：2021年12月10日

資本金：8,500,000円

事業内容：インターネットサービス事業、プラットフォームサービスの企画・開発・運営